

## 4 企業会計

### 公営企業局

#### 水道事業会計

##### 主な収益の推移

(単位: 千円)

項 目	令和4年度 決算	令和5年度 決算	令和6年度 決算	令和7年度 当初予算	令和8年度 当初予算	前年度増減
給水収益	※7,913,935	8,576,424	8,552,782	8,275,434	※8,091,995	△ 183,439
分担金	300,045	307,247	313,533	249,713	302,295	52,582

※ 令和4年度及び8年度は、基本料金の減免を実施

## 水道事業会計

### 尼崎市の水道

通水開始時期	大正 7 年	
配水能力	314, 971 m <sup>3</sup> /日	
配水管延長	1, 011 km	
給水戸数	254, 000 戸	
年間総配水量	52, 555, 000 m <sup>3</sup>	(前年度比 +0. 5%)
1 日平均配水量	143, 986 m <sup>3</sup>	
年間総給水量	47, 713, 000 m <sup>3</sup>	(前年度比 +0. 5%)
1 日平均給水量	130, 721 m <sup>3</sup>	
阪神水道企業団		
1 日平均受水量	114, 359 m <sup>3</sup>	(前年度比 +0. 6%)

- (1) **水道事業の施設のあり方** 918, 375  
公営主要 (172, 669)  
P4 節水機器の普及や人口減少に伴い水需要と施設能力の乖離が広がることを見込まれる中、将来の投資や維持管理費用の縮減を図りつつ、水道水の安定した供給を継続する。

- ・ 神崎浄水場受変電設備等更新
  - ・ 神崎浄水場中間ポンプ用弁類更新
  - ・ 神崎浄水場テレメータ回線改修
  - ・ 神崎浄水場再整備アドバイザー業務委託 等
- 債務負担行為（8 年度提出分）金額 7, 863



神崎浄水場 供用開始：大正 7 年


- (2) **管路の計画的更新と維持管理** 2, 666, 615  
公営主要 (1, 318, 713)  
P6～7 「重要度・老朽度・耐震性」の 3 つの観点から配水管の更新優先度を設定し、投資規模の平準化を図りつつ、計画的に管路を更新する。また、管路の維持管理においては、従来の対処的な修繕等を施すのではなく、より効率的かつ計画的な予防保全の取組を推進する。

- ・ 配水管整備工事 10. 8km
- 基幹管路の耐震化率 見込み 53. 5%
- ・ 維持管理点検及び修繕工事
- ・ 衛星画像による漏水箇所の詳細調査



配水管更新工事

- (3) **配水ブロック化・業務継続計画の運用** 40, 709  
公営主要 (2, 134)  
P8 平常時の安定給水の確保及び災害時等における市内配水圧を速やかに把握するため、水圧監視装置の設置を進めるとともに、配水ブロックごとに災害対策の検討を行う。また、他事業体や民間事業者からの応援を受け入れるための受援体制の整備等、災害時対応能力の強化に取り組む。
- ・ 水圧監視装置の設置
  - ・ 他事業体や医療機関等との合同訓練の実施 等

(4)	<b>水源水質の保全・水質管理の徹底</b>	164, 029
	琵琶湖・淀川水系の水源水質の保全に取り組むため、淀川から取水する水道事業体と連携して、早期の水源の異常を発見し、迅速に対応する。 水道水の安全・安心を確保するため、水安全計画及び水質検査計画の運用を通じて、水源からじゃ口に至るリスクの未然防止や適切な対応等を講じ、水質管理の徹底を図る。 ・活性炭入替 ・水質分析機器等の購入	(102, 692)
(5)	<b>鉛製給水管の解消</b>	274, 824
	鉛製給水管は、水道水の長時間滞留で鉛成分が水中に溶け出すことにより水質基準を超過する可能性があり、健康への影響が懸念されることや、漏水の発生を抑制するため、公道部の鉛製給水管の取替工事を行う。 ・公道部の鉛製給水管の取替工事 (561 か所)	(228, 656)
(6)	<b>応急給水拠点の充実・市民や地域との連携の充実</b>	6, 638
公営主要 P9	災害時でも水道水を供給できるよう、避難所となる市内の小・中学校等に応急給水拠点を整備し、設営訓練や認知度向上等の取組を進める。 ・応急給水拠点の整備 令和8年度設置予定場所 中央中学校 ・応急給水拠点での訓練実施 (15 回程度)	(31, 008)
		
	応急給水栓とベンチ式倉庫	
(7)	<b>経営の効率化</b>	64, 937
公営主要 P10	人口減少に伴う給水収益の減少が見込まれる中、ICTを活用し、お客さまサービスの向上、業務効率化等につながる取組を推進することで、さらなる経営の効率化を図る。 ・水道料金等納付のデジタル化 ・工事情報共有システム (ASP) の活用 ・あまがさきオンライン申請ポータルの活用 等	(3, 131)
(8)	<b>広報・広聴</b>	7, 726
公営主要 P19	お客さまの日常生活において欠かすことのできない水道について、身近に感じて興味、関心をもって自分事としていただけるよう様々な広報手段を用いて広く発信する。 ・「ウォーターニュースあまがさき」と「市報あまがさき」の一体化による広報の充実 等	(4, 388)
(9)	<b>阪神水道企業団等からの受水に要する経費</b>	3, 899, 573
	用水供給事業体である阪神水道企業団 (神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、宝塚市、明石市) 及び兵庫県からの受水等に係る経費	(3, 899, 973)